

山口県立総合医療センター

麻酔科

専門研修プログラム

つむぐ、
つながらる、
つよくなる。

Anesthesiology

Yamaguchi Prefectural Grand Medical Center

未来は現在からつくられる、想いを「つむぐ、つながる、つよくなる」



ABOUT プログラムの概要と特徴

山口県立総合医療センターは504床を有する総合病院で、2018年度の麻酔科管理症例数は3581件(全手術件数は約4762件)であり、今後も増加していく見込みです。手術室は中央手術部に9室、母子医療センターに1室の計10室で各診療科手術の麻酔を施行しています。外科系各科は主に山口大学・長崎大学系の関連医師が多く、横の連携が密で複数科での手術もスムーズに行われています。また12床のICU病床をセミクローズドシステムで各科との連携のもと麻酔科が運営しています。ペインクリニック外来も常設しており、疼痛疾患管理や緩和ケアチームで麻酔科医が活躍しています。病院も高度先進医療を志向しており、常に新しい知識と技術を習得することが可能です。また山口大学麻酔科の関連研修施設にもなっています。

MISSION プログラムの運営方針

- ① 後期研修1年目から当院麻酔科で研修を開始するものは、麻酔専攻医として登録し、4年間の研修プログラムを開始する。
- ② 当院を関連研修施設として研修する専攻医は、原則として6ヶ月以上の研修を行う。
- ③ 研修期間中に集中治療医学を学べるよう、ICU専従期間を設ける。
- ④ 専攻医4年目には、麻酔リーダーとして手術室全体の手術の流れを調整することを学び、他の診療科医師や看護師、コ・メディカルとのコミュニケーションスキルを身につける。

指導体制と前年度麻酔科管理症例数

◎責任基幹施設

山口県立総合医療センター 麻酔科

◎プログラム責任者 ◎指導医



麻酔科診療部長
田村 尚
Hisashi Tamura

- 田村 尚** (麻酔・集中治療)
岡 英男 (麻酔・集中治療)
中村 久美子 (麻酔・ペインクリニック)
中村 真之 (麻酔・心臓血管麻酔)
角 千恵子 (麻酔・集中治療・小児麻酔)

募集定員 **2**名

◎お問合せ先

山口県立総合医療センター
〒747-8511 山口県防府市大崎10077番地 TEL 0835-22-4411

2021年度	症例数
小児(6才未満)の麻酔	169
帝王切開術の麻酔	152
心臓血管手術の麻酔(胸部大動脈手術を含む)	33
胸部外科手術の麻酔	83
脳神経外科手術の麻酔	132

■麻酔科認定病院番号:228 ■麻酔科管理症例数:3242件

◎連携施設



山口大学医学部附属病院 小郡第一病院

本プログラムの研修カリキュラム到達目標

	麻酔科	ICU	ペインクリニック・救急
1年目	気管挿管、中心静脈カテーテル挿入をはじめとした臨床麻酔を行ううえでの基本的手技に習熟する麻酔に使用する薬物の使用法を理解する。手術中に遭遇する生体反応への対処法を学ぶ。指導医と緊急手術の麻酔を行う。	各人工呼吸器の使用法、呼吸モード、人工呼吸からの離脱手順を理解する。鎮静/鎮痛薬の使用法を学ぶ。各種モニターの使用法を学ぶ。	CPRの基本を理解する。ダミー人形を用いた訓練を行う。院内で急変患者が発生したときには、指導医のもとでCPRに参加する。
2年目	患者に適した麻酔法の選択ができる。脊髄麻酔・硬膜外麻酔を習熟する。心臓外科手術の麻酔を指導医とともに担当する。突然の血圧低下や心停止など、緊急事態に対応できるようにする。各種神経ブロックを習得する。	患者急変時の対処法を学ぶ。心臓血管外科麻酔を相当数研修した後にICU専従期間を設ける。	希望者はペインクリニック・緩和ケアチームに参加し専門医から指導を受ける。1人でもCPRが行えるようにする。CPRを行いつつ、原因検索のための検査オーダーが出せるようにする。
3年目	心臓外科手術の麻酔、緊急手術の麻酔などハイリスク患者の麻酔を担当する。麻酔科研修中の初期研修医の指導を行う。	各科の主治医と患者の病態生理について議論でき、治療方針の立案に参加できる。	希望者はペインクリニック外来を担当し、病棟管理を受け持つ。
4年目	手術室全体の業務の流れをコントロールすることを学ぶ。他診療科の医師や看護師、コメディカルとのコミュニケーションスキルを身につける。	救命救急センターのICU研修(1~2ヶ月間)を行う。自らの専門領域を集中治療と考えるものは、集中治療部に在籍し研鑽を積むことも可能である。	

専門研修プログラム名:山口県立総合医療センター麻酔科専門医研修プログラム
認定番号:2317350002

院長ごあいさつ

当院の使命は高度急性期病院としての機能に加え、基幹災害拠点病院、へき地医療拠点病院、地域医療支援病院および地域がん診療連携拠点病院など、小児から高齢者に至る幅広い年齢層の患者さんの命を救うべき病院として機能することです。

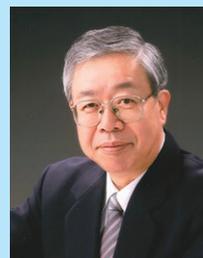
少子高齢化社会に加え、人生100年の時代に突入してきました。100年の時間をどのようにデザインしていくか、「健康長寿」を目指したその医療提供体制の在り方が問われています。良質な医療を提供するためには、人材育成の観点から医療人がより働きやすい、活力が生まれる職場環境の見直し・整備が今の時代には不可欠です。ITを利活用し、時代の潮流に沿った在宅医療の推進に向けた病病連携や病診連携も積極的に推進していき

ます。山口県民の皆さまが安心できる医療提供体制作りにも多角的視点から取り組んできたいと思っています。

今後とも、当院の基本理念である「県民の健康と生命を守るために満足度の高い医療を提供する」ことに向かって、県民の中核医療機関として恥じないよう、職員一同、一致協力して精進していく所存でありますので、県民の皆さまのより一層のご理解とご支援の程、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

地方独立行政法人山口県立病院機構
山口県立総合医療センター

院長 武藤 正彦



基本理念

県民の健康と生命を守るために
満足度の高い医療を提供する。

目標

- ◎患者本位の医療
- ◎親切な医療
- ◎良質な医療
- ◎信頼される医療
- ◎地域に開かれた医療を提供し、県民の健康に資する。

基本方針

医学・医術の進歩、疾病構造の変化、医療領域の拡大、医療の情報化に対応できる基幹病院として、県内の医療機関との機能分担と連携を図るとともに、県民の健康と生命を守るために良質で満足度の高い医療を効率的に提供し、県民の福祉の増進に寄与する。

- 1 救急・周産期・がん・へき地医療など高度専門・特殊医療等の推進
- 2 災害時医療及び感染症対策への積極的な取組
- 3 本県の医療水準維持・向上のための支援機能の充実
- 4 医療の安全性の確保と患者サービスの充実
- 5 経営健全化のための一層の取組

診療科目

- 脳神経内科
- 呼吸器内科
- 消化器内科
- 循環器内科
- 腎臓内科
- 糖尿病・内分泌内科
- 血液内科
- 小児科
- 小児科(新生児)
- 外科
- 呼吸器外科
- 消化器外科
- 乳腺外科
- 整形外科
- 形成外科
- 脳神経外科
- 頭頸部外科
- 心臓血管外科
- 小児外科
- 皮膚科
- 泌尿器科
- 産婦人科
- 婦人科(生殖医療)
- 遺伝診療科
- 眼科
- 耳鼻咽喉科
- リハビリテーション科
- 放射線科
- 精神科
- 救急科
- 麻酔科
- 歯科
- 歯科口腔外科
- 病理診断科

病床数

504床(一般病床490床・感染症病床14床)

